



表面SUNSE
室外ユニットの据付手順

5 内外接続電線の接続・断熱とテーピング

内外接続電線の接続

- 後々のサービスのことも考え、内外接続電線には余裕をもたせてください。

断熱とテーピング

- 1) バイパカで接続部の配管をおおいます。
- 2) 室外側はバルブまでしっかりと断熱してください。

注意

天井裏や押入れなど高温、多湿な場所へ配管を通す場合には、腐付き防止のため更に市販の断熱材を巻き加えてください。

アースの取付け

●エアコン回路のアース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事の方が実施してください。

電源の条件	エアコンの種類	取付場所	水気のある場所	湿気の多い場所	乾燥した場所
交流対地電圧が150V以下の場合	単相100Vの機種 単相200V(単相3線式200V電線)の機種				□接地工事は法的には除外されていますが安全のため接地工事をしてください。
交流対地電圧が150Vを超える場合	三相200Vの機種		漏電遮断器を取付け、さらに□接地工事が必須です。		

(□接地工事について)

- 接地工事は電気工事士が行ってください。
- 接地抵抗値は100Ω以下であることを確かめてください。(漏電遮断器を取付けた場合は500Ω以下であることを確かめてください。)

●室内機からアースをとる際にはアース線を左図のように引直し、アースネジM4×8φで固定してください。

●MSY-40BSの場合は、室内電源コードがアース付になっております。

注意

アース工事を行う。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。

試運転 (必ず実施してください)

応急運転スイッチを押すと30分間試運転の状態になり、30分以降は応急運転(24℃設定温度)となります。

- 1) 電源は定格電圧と合っているか必ず確認してください。電源プラグをコンセントに差込みます。
- 2) 応急運転スイッチを押す。(30分間は試運転となります。)

① 1回押すと冷房試運転を開始します。

この時、約5秒から3分後に運転モニターランプが点滅する場合は内外接続電線の誤配線を点検してください。

② もう1回押すと運転が停止します。(応急運転スイッチを押すこと①) -②を繰り返します。)

モード	運転モニターランプ
① 冷房試運転	(点灯) (消灯)
② 停止	(点灯) (消灯)

リモコンの送信確認

- リモコンの入/消ボタンを押して、室内ユニット本体が「ピッ」となるのを確認してください。もう1度ボタンを押して「切」にしてください。(壁などにリモコン取付具を取付ける場合も) (同様に確認してください。)
- リモコンで操作した場合は、リモコンの指令にしたがい試運転、応急運転とも解除されます。
- 一旦圧縮機が停止すると、機器保護のため3分間再起動防止機構が作動し3分間は圧縮機が再運転しないようになっています。

前パネルの取付けかた

①前パネル取付け前にフラップを下記の位置にセットします。

②前パネルの下部をフラップの下に入れます。前パネルの上側をはめ込みます。前パネル矢印部を押してエアコン本体にはめ込みます。

室内ユニットの外しかた

室内ユニット下面の据付板からの外しかた(コナ部の取外しが可能な場合)

室内ユニットの左右コナ部を外し、下図のように室内ユニットの左右下部を下側へ引きながら手前へ引けば、フックが外れます。

上記の方法ができない場合

壁面などにより、上記の方法ができない場合は、前パネルを取外し、下図のように、左右の角穴に、六角レンチなどを差込み、上側に押しせば室内ユニットの下面が下側へ下がりフックが外れます。

ポンプダウンの手順 (強制冷房運転)

移設または真夏日時、冷房を大気へ放出しないため、下記手順にしたがってポンプダウンを行ってください。

- ① 室外機のガス側ストップバルブ(3方弁)のよりのサービスポートにゲージマニホールドバルブ(圧力計付)を接続し冷媒圧力が測定できるようにする。
- ② 室外機の液側ストップバルブ(2方弁)を全閉する。
- ③ 室外機のガス側ストップバルブ(3方弁)をあらかじめ全開近くまで開める。[圧力計の指示が0MPa(0kg/cm²)に近づいた時容易に全開ができるように準備する。]
- ④ 強制冷房運転をする。強制冷房運転は室内ユニットの応急運転スイッチを1回押す。(最大30分間まで連続の冷房運転ができます。)
- ⑤ 圧力計が0.040~0MPa(0.5~0kg/cm²)でガス側ストップバルブ(3方弁)を全閉する。
- ⑥ 運転を停止する。運転停止は室内ユニットの応急運転スイッチを1回押す。

HAに接続するために

本機には、従来のHAシステムを直接接続することはできません。

- 接続には別売部品MAC-374IFが必要です。
- 詳細な接続方法については、MAC-374IF付属の説明書をご覧ください。

チェックシート

の中に✓印をいれる。

- 電源電圧は規定通りか?
- 内外接続電線の端子台への挿入は確実か?
- 内外接続電線の固定は確実か?
- 電源コードおよび内外接続電線の中間接続は行っていないか?
- アース線の接続は確実か?
- 配管接続部のリークテストを行ったか?
- 真空引きを行ったか?
- ストップバルブの弁は全開か?
- ドレンホースの接続は確実か?
- 本体裏側配管収納部の応急はフェルトテープを巻いたか?
- 据付場所の強度はエアコンの重量に十分耐える場所、騒音や振動が増大しないところか?
- エアコンの下に家具、カーテンボックスなどがあり、吹出空気をせき止めているか?
- (安全のために必ず守ること)の▲警告▲注意の項目をチェックしたか?

お客様への説明

- 取扱説明書の手順で正しくわかりやすく説明してください。
- この据付工事説明書は据付後お客様にお渡しください。

三菱電機株式会社